**平和統一運動次世代リーダー育成のための**

**「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門及びエッセイ応募原稿フォーマット**

**■「私から始まる平和統一大賞」とは**

　朝鮮戦争によって分断された朝鮮半島と在日コリアン。先人たちが夢にまで見た「統一」はいつ来るのでしょうか？　最近の国家情勢で考えると問題があまりにも大きく見えて、何から手を付けて良いのか、わからなくなってしまうことはありませんか。しかし、皆さんが「心の壁」を乗り越えた小さな体験が、何かしら在日同胞の和合に役に立った事はなかったでしょうか？

　’為に生きる’神様主義の真の愛を根本精神として国籍と思想、組織を超越して、国内外の韓民族の和合と統一の実現を目指す平和統一聯合は、この度、皆様の「心の壁」を乗り越えた経験を、同世代や後に続いていく世代の力とするために、創設20周年記念企画としてこの賞を創設いたしました。

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 | 「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門、会員及び一般部門　エッセイ募集 |
| 募集テーマ | 「私の心の壁を越えて始まった平和統一の経験」・自分の置かれている環境でぶつかった「心の壁」、なぜそれが「壁」であったか、どのようにして乗り越えたか、そのきっかけや周りからの言葉、勉強になったと思う自分の経験、そしてそれが在日同胞の和合、朝鮮半島の平和統一にどのように発展していく可能性があるかをスピーチ、または記述。 |
| 応募条件 | 平和統一聯合に所属している会員、担当者。または左記から紹介を受けた方。 |
| 募集期間 | 青年スピーチ部門：2024年６月16日（日）まで地方予選会員及び一般部門　エッセイ募集：2024年４月１日（月）～2024年６月17日（月） |
| スピーチ原稿規程 | 【青年スピーチ部門】　５分以上７分以内（制限時間を超過した場合は減点）。※パワーポイント使用可。【会員及び一般部門　エッセイ募集】800字以上3000字以内、１人１点。※両部門とも主となる言語を日本語で行うこと。部分的に韓国・朝鮮語、または他国の言語を使用しても良いが、日本語の意味を付け加えること。 |
| 応募方法 | Wordファイルのまま、応募フォームよりご応募ください。※ 青年スピーチ部門に応募の方も、同様に原稿を提出してください。 郵送、FAXでのご応募はご遠慮いただいております。 |
| 発表 | 2024年6月下旬　ホームページにて公開入賞者には、メールまたはお電話にて直接ご連絡をさしあげます。青年スピーチ部門の大賞受賞者は、７月４日東京都内の記念行事でスピーチします。その交通費は本部負担。 |

**題名：　「韓国からお嫁に来てくれたオンニ達に感謝します」**

**お名前：　　山本　千夜子**

(下記より本文をご記入ください) 私は韓国に数年住んでた事があり、韓国の方々の気質は主体性がとても強いこと、侍る文化が徹底されてる事を身をもって経験しました。お隣りの国であるにも関わらず、日本とは全くと言っていいほどの違いに面食らいながらも、それが逆に新鮮で私の人生を変えたと言ってもいいほどの貴重な経験でした。

帰国してからも韓国からお嫁に来た婦人達と接する度にその人なりの違いはあっても、結局私は与えるより全面的に与えられる立場になってしまい、その度に愛を受けたんだなと今になって思います。そのようにして肉親ではないのに時にはお姉さんのようにまた妹のように愛を実体で教えてくれる韓国の婦人達に心から感謝しています。

日本に来て20年30年になる婦人達も多く
日本語はとても上手で、韓国と文化の違う国で韓国の文化を伝えながらしっかりと生きてる姿を尊敬しています。国を越えて結婚するということにおいて国際結婚したことのない者にはわからない苦労がどれほど多かっただろうかと思います。

そして日本人の夫を愛し、子供を産んで、また親族に尽くしながら韓国と日本の恩讐の思いは過去のものになったのではないかと勝手に思っていました。

最近私はこの大会の主催団体である平和統一連合北海道のスタッフにさせていただいたのですが、そこで私の思いがあまりにも日本人サイドであり、自分勝手で甘かったことがわかりました。

それは、韓国オンニ達の中に日本に対する恩讐の思いがなくなってはいないんだ、ということでした。

それは考えてみれば当然のことで、歴史の中でつい、こないだまで日本が朝鮮半島の人達にやって来たことは言葉には到底言葉に表すことのできない非人道的、かつ残虐なことであり、それを思うとこの瞬間私自身が日本人である自分を抹殺したくなるほどの事をやってきたのですから。
どれほど謝罪しても許されない事をやったということは消えません。

そのような恩讐の国、日本に玄界灘を越えて最愛の娘を送り出すごご両親の思いはご自分が死ぬより辛かったのではないか、そして本人達もそのようなご両親を残してくる事に胸が引き裂かれる思いだったのではないかと思います。

でも彼女達は韓国とこの日本が一つとなるために、そして朝鮮半島の平和統一の為に、世界が一つとなる為に文字通り個人家庭民族氏族国を越えに越えて日本の男性を生涯の伴侶にする道を選んだのだと思いました。

結婚は個人の恋愛感情とか利害でする時代であるにも関わらずあまりにも結婚する動機が尊くて胸が詰まる思いです。
韓国オンニの日本に対する思いを聞いた時、どうやって韓国と日本が一つになれるのだろうと思い悩んだこともありました。が、今はそのような尊い心を持った韓国オンニ達がこの日本に居てくれる、またこの北海道に、私の側に居てくれる、それだけで感謝しています。

今では血の繋がった家族ですら、他人のようになってしまった日本に本来の家族の愛と情を言葉よりも行動で愛してくれて伝えてくれる韓国のオンニ達、あなた達によって、私と私の家庭が生かされ、この日本が生かされています。本当に本当にありがとうございます。カムサハムニダ。

そして韓国と日本は必ず一つになります。
在日は必ず和合します。
南北は必ず平和統一します。
オンニ達の恩讐を越えた尊い心が全ての人達を幸せに導いていけると信じてます。在日の人達も北朝鮮の人達も必ず幸せになれると信じています。
　　　　　　　　　　　　　　　終わり